



週)報

2014~2015年度))) R I 会長)ゲイリー C . K . ホアン)
R I のテーマ) 『ロータリーに輝きを』)
地区のテーマ)))「行動) ACTION」) ガバナー)坂本元彦)

国際ロータリー
第 2 5 7 0 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14) TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)稲見) 淳) 会長エレクト)奥富喜平))副会長)坂本松男) 幹事)江原伸夫)

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1014 回(10 月 28 日)例会の記録

国際ロータリー第 2 5 7 0 地区 坂本元彦ガバナー公式訪問



2014 年 10 月 28 日 2014~2015 年度 坂本元彦ガバナー公式訪問 (於)狭山東武サロン

点 鐘 稲見 淳会長
合 唱 国歌斉唱、奉仕の理想
第 2 副 SAA 柴田君、清水君
卓話講師 国際ロータリー第 2570 地区
ガバナー 坂本元彦様
ビジター 富士見ロータリークラブ
小椋博之様 奥田功次様

例会に先駆けて坂本ガバナーと入会 3 年未満の
会員との懇談が和やかに行われました。

会長の時間

稲見会長

国際ロータリー第 2570 地区、坂本元彦ガバナー、ようこそおいで頂きました。今日はガバナー公式訪問ということで、1 日ご指導宜しくお願い致します。

先ほど入会 3 年未満の会員の方とガバナーとで懇談会がありました。今年の狭山中央ロータリークラブの最大の目標を、会員増強に置いております。お陰様でこの 10 月末を持ちまして 6 人の増強ができました。今年の目標は 5 名としておりましたので、もうすでに 1 名多く入会して頂いております。それも皆さん優秀な方に入って頂きましたので、本



出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
40 名	37 名	94.59%	93.94%



当に良かったと思っております。これはやはり会員一人一人の増強への意識の高さ、それともう一つは増強委員長の寶積先生の強力なリーダーシップの元で、達成できたのではないかと考えております。後残り 8 か月ありますので、ここで増強を止めるのではなく、入れる時に入れておくといった感じで、誇れる狭山中央ロータリークラブの増強ということで頑張っていきたいと思っております。ご協力宜しくお願い致します。

今日はあまり時間もありませんので、10月18日に行ったフリーマーケットについてガバナーに聞いて頂きたく、お話をさせて頂きます。

寶積パスト会長の所の、尚寿会のフリーマーケットに協賛して参加しております。毎年参加し、17年経ちました。今年は寶積パスト会長の開会宣言の元に販売を始めたわけですが、天気も良く、外で活動をするにはもってこいの日でした。まず社会奉仕委員会、益子委員長が中心となりまして、女性会員が豚汁等の仕込みをし、準備万端でその日を迎えました。値札も付けまして、その日の売り上げが約 20 万円、これも今までにない成果だったと思います。本当に楽しい 1 日を過ごさせて頂きました。そしてこの 20 万円は、また皆さんと協議しながら、どこかへ寄付出来たらと考えております。

それと共に、栗原成実パスト会長が委員長の公共イメージ委員会、それをも兼ねまして、狭山ケーブルテレビに撮影をして頂き、後日放送致します。それによって市民の皆様幅広くロータリーの活動を広報できたらと思っております。皆さんにも見て頂きたいと思っております。

もう一つ、坂本元彦ガバナーの地区の方針に「ロータリーデーの開催」ということが謳われております。ポスターに大きく「ロータリーデー」と掲げまして、販売と共に、我々ロータリークラブはこのような活動をしているのだということ、地区の皆さんに啓蒙して頂きました。

本当に有意義な一日を過ごさせて頂いたと思っております。今日は坂本ガバナーには私たちの普段の例会を見て頂き、是非また総評の方で色々アドバイス頂けたらと思っております。

幹事報告

江原幹事

(定例理事会) 次の件が審議・承認されました。

- (1) 11・12 プログラム承認
 - (2) ガバナー公式訪問について
 - (3) 宮野会員へ青少年交換学生受け入れホストファミリー経費として補助金の支給を承認
- ・国際ロータリー第 2570 地区 地区決議会報告
・地区大会は 12 月 7 日(日) 登録開始午前 9:00 となっております。皆様のご協力をお願い致します。特に 3 年未満の会員方々宜しくお願い致します。

1 例会変更 入間 RC、飯能 RC、所沢 RC、狭山

RC、新所沢 RC

- 2 例会場変更 飯能 RC 12 月 3 日より下記へ
(株) ホテルヘリテイジ飯能
- 3 受贈会報 所沢東 RC

10月7日に入会の高須賀雅夫会員にガバナーからバッジをつけて頂きました。

坂本ガバナー

高須賀雅夫様、入会おめでとうございます。バッジを付けさせて頂きましたが、常にこのバッジを胸に秘めて、そしてどこでもこのロータリーを誇らしく思って、今後の人生に役立てて頂きたいと思っております。是非この栄えある狭山中央ロータリークラブの一員として、今後もお活躍をお願い致します。



《会員 3 分間スピーチ》

栗原成実会員

坂本ガバナー、本日は公式訪問、誠にありがとうございます。宜しくお願い致します。いつも宝くじを買っては当たらないのですが、何故かこういった時にこういった番が当たってしまうという宿命に追われております。



10 月半ば頃にリトアニアの方に妻と旅行をしてきましたので、杉原知歎さんが 6000 人以上のユダヤ人の方にビザを発給したという話をしようと思っておりましたが、今度はどこかの節目でパスト会長の時間が回ってくるのではないかと思います。その話はまたその時にじっくり話させて頂きます。

今日はご案内ということで、西武鉄道が主催致しました、狭山市の市政 60 周年を記念したウォークラリーがあちこちで開かれております。東松山がこのウォークラリーについては一番活発な市なのですが、このウォークラリー、ちょうど 11 月 1 日、2 日、3 日と続いてあるのですが、特に 2 日(日) 9:00~11:00 の間に、新狭山の駅を出発致しまして、奥富の案山子、刈入れの終わった田んぼのあぜ道に案山子が沢山飾られており、そこに模擬店が沢山出ているそうです。入間川の河川を歩きまして、中央図書館から狭山市駅に戻ってくる 6km と 10km のコースがあるのですが、もし宜しければ、子供連れというよりも、夫婦手をつなぐ、孫と一緒に等、このような秋の空を、半日くらいかけてゆっくりと田園風景を楽しまれると宜しいかと思っております。私も家内に話をしましたら、是非お願い致しますと、先導役には孫を連れて行きたいと思っております。部数が少ないのですが、パンフレット 2 枚目真ん中に、「11 月 2 日、田園風

景を生かした秋の風物詩「かかし祭り」を見学し、入間川河川敷を歩こう」というタイトルで出ております。できれば9時ではなく、10時30頃スタートするのが宜しいかと思えます。9時だと2時間位で戻ってきてしまいますので、遅い時間にスタートされると宜しいかと思えます。

是非多くの方に家族連れでご参加願えれば良いかと思っております。

「外来卓話」・・・・・・・・

国際ロータリー第2570地区
ガバナー 坂本元彦様



只今ご紹介に預かりました、ガバナーの坂本でございます。富士見ロータリークラブ第二グループに属しております。私どもは今年度40周年を迎えましたが、皆様の所は創立22周年ということ、先ほど皆様方のクラブが創立された年のことを少し見ておりましたら、懐かしいお名前、当時RI会長、クリフォードL・ダクターマンさんというお名前が載っておりました。

この方は今現在、車椅子に乗っております。割と恰幅が良く、確かアメリカのカリフォルニア州のバスターガバナーの方なのですが、実はこの方が、私共がエレクトの時、1月にアメリカのサンディエゴで1週間研修をするわけですが、その時の講師としていらっしゃり、我々に対するお話をなさいました。非常に面白おかしくおっしゃいまして、本当にいつも緊張している我々が、腹を抱えて笑ったと言いますか、非常に和やかな雰囲気させて下さいました。

今日このお話を初めてするのですが、この方がおっしゃったことで、素晴らしいと今でも残っていることがあります。ダクターマンさんは「ロータリーはオーケストラみたいなものだ。リーダーである例えばガバナーや会長、そのような方は指揮者なのだ。オーケストラにおいては、色々な音を出す人がいる。良い音を出す人もいれば、あまり良くない音を出す人もいるだろう。大きい人もいれば、小さい人もいる。その色々な音を如何に上手く聴衆の皆様に聞こえるようにするのが、その指揮者の、言わばリーダー、言わば会長、ガバナーの役目なのだ。」と、こうおっしゃいました。非常に面白かったです。そして最後に「バスターガバナーとはそのオーケストラに対する批評家なの

だ。」という言い方をされておりました。

その時の懐かしいお名前が出ておりましたので、冒頭に少しこのお話をさせて頂きました。

改めまして、先ほど会長さんもおっしゃっていましたが、大変素晴らしい6名もの新入会員の方を入会させられたということ、私の今まで回ってきた約40のクラブの中では、一番素晴らしい結果を出されたクラブだと思います。勿論この先まだ半年以上ございますので、終わってみれば2桁の10人ということになるかもしれません。そうなりますと、本当にこの地区始まって以来の歴史的快挙なのかもしれません。是非会長さんにも頑張ってもらって頂き、2桁を狙って頂きたく存じます。本当に素晴らしい良いクラブだと思います。

今日私がこちらにガバナーとしてこちらに来て、私の話を聞いて頂いて、是非皆様にロータリーをもっと頑張ろうと、そのようなお気持ちになって頂ければ、私はそれで満足でございます。そんなに良い事をいう訳ではございません。聞いてきたことを、時には自分で思いついたような顔で言うかもしれませんが、是非私の話を聞いて頂いて、ロータリーを頑張ろうと、モチベーションを上げて頂きたいと思えます。

最初に、この1月に私は1週間アメリカのサンディエゴに行って、国際協議会に出席し、色々なレクチャーを受けて参りました。その時のことを2、3申し上げますと、本題と少しかけ離れたようなこともございますが、まず一つ、びっくりしたと言いますか、やはり日本人と欧米の方とは考え方が違うのだと思ったことがありました。その一つは、同じ場所、同じ一つのホテルに世界から千数百人のロータリアンが集まるわけで、非常に盛り上がるし熱気もある、そのような場で非常に親しくもなるのです。するとエレベーターに乗った時に、どこから来たの?といった感じに片言の英語で話が始まり、あなたはどれくらいここにいるの?といった話になった時、私も全員と話をしたわけではありませんが、話した5~6人の方全員が、滞在は3週間から1ヵ月位だという回答でした。そして私の滞在は1weekと答えると、可愛想にといった顔をされるのです。えっ?と聞き返すと、俺は3週間いると言われ、sightseeingをしようのです。これは良い悪いの問題ではなく、日本人とは律儀なのか、真面目なのか、自分の仕事を大切にしているのか、要するにほとんどの日本のエレクトが前日に入って、終わってすぐ帰る、ほとんどの方は団体で来ておりましたし、2~3人の方は個人旅行で来ておりましたが、それでも3日か4日間でした。そこのところは、色々なバックグラウンドが違うのですが、やはり欧米の方と日本人とは、このような1週間の大会があってもそれをどう楽しむかということが違うのだということを強く感じました。非常にうらやましかったです。

それからもう一つ、やはりこの辺が違うのだと

思ったことがありました。それは我々が行く前年の秋頃に、RIの方から色々な問い合わせがくるのですが、夫婦のニックネームを書いて出して下さいとの問い合わせがありました。そう言いまして私は普段からニックネームであまり呼ばれておりませんので、元彦という名前ですので「モト」とし、それを送りました。当日会場に行って名札を頂きますと、勿論下に小さく「坂本」とは書いてありましたが、その名札には「モト」と大きくニックネームが書いてあるのです。それは私だけでなく皆そうなのです。

結局、先ほど話したようにエレベーターの中や会場であったりしても、相手の名札を見てもニックネームですから、ニックネームで呼んでくるわけです。堅苦しい世界とこちらは思っておりましたが、向こうはそうではないのだ、こうした所では、お互い友達になって友情を深める場でもありますから、勿論研修もありますが、ニックネームでお互い呼ぶような場で良いのだということです。よくよく歴史的な物を辿ってみますと、そもそもポールハリスがロータリーを作ったのは、このようなフレンドシップを作りたいということも一つの目的であったと思います。そして読んでみますと、当時からロータリーのクラブでは、お互いニックネームで呼んでいたらしく、ニックネームで呼び合うことが例会だったそうです。

今の日本の例会で、お互いニックネームで呼ぶ、そういった所もあるのかも知れませんが、ほとんどがそうでないと思います。これは良いとか悪いとかではなく、例会とはそのように、友達同士の付き合いをしましょう、フレンドリーにいきましょうということであれば、そのような姿であっても良いということだと思います。現にそのRIのアセンブリーでは、ニックネームで呼び合うというような形での会合でした。その辺が先ほど言いましたように、日本と向こうでは、多少ロータリーに関しても考え方が違うのかという感じがありました。

非常に皆盛り上がり、熱気がこもって、そしてゲイリーさんが登場されて、我々エレクトに対して初日こそ違いましたが、毎日同じようなことをおっしゃいました。これを言うと皆さん嫌な気持ちになるかもしれませんが、毎朝我々に、皆さん寄付をして下さいということを一番におっしゃるのです。要するに財団への寄付というようなものを是非お願いしますと、そして我々に向かって、昨日はこれだけ集まった、今日はもっと頑張りたいということ、どうか宜しくお願い致しますという訳です。例えば1万ドル寄付してくれた方がいたら、アメリカのどこそこのエレクトは1万ドル寄付を致しました、皆さん頑張りたいとおっしゃるわけです。

席はあらかじめ決められており、他の各国の方たちと混ざって座るようになっているのですが、一列後ろや前等その辺りには日本人の方もいらっ

しゃいます。我々としては、え？といった顔で、顔を見合わせていたのですが、最後の方になりますと、やはり世界のRI会長になる方が、我々に対してそのようなことを言の一番におっしゃるということは、寄付ということがある意味非常に大切であって、そしてなおかつロータリアンとして、そのような寄付をするという行為を何のてらいもなく、心の嫌味がなくすつと行えるということが、真のロータリアンなのだということを、我々にわからせるためにおっしゃったのではないかと感じてきました。それを洗脳されたのだと言われればそうなのかも知れません。しかし考えてみますと、ロータリーというものはRIというもの、財団というもの、日本で言えば米山もそうであるかもしれませんが、そうした我々の寄付行為で成り立っている部分も大いにあるということは事実です。そういたしますと、我々がロータリアンである以上、そのことを実践していくということが、一つの寄付という形に現れても良いのかなと思いました。

これは皆さんに私が、絶対に、では明日から寄付をして下さいということを言っている訳ではありませんので、誤解のないようお願い致します。あくまでもそのような気持ちになれば、おやりになれば良いということだと思います。このようなことは、上から言われてしまいますとなかなかさんなりとはできないかもしれませんが、このようなことを帰ったら皆さんによくお伝えしてくれとおっしゃっていました。寄付をして欲しいということを、まず毎朝ゲイリーさんは我々におっしゃいました。

そして二番目におっしゃったのは、日本、皆さんも以前からそうですが、増強です。ご存知だと思いますが、先進国では日本も含めて、今長期低落傾向といっても良いと思います。当地区も残念ながら、前年度中井年度に比べましても減少しております。他の地区の話をお聞きすると、そろそろ反転してきている、若干増加に向かっているという声も聞こえますが、しかし我が地区はまだ、低落しております。そのような意味から致しましても、こちらのクラブが6人も増強された、終わってみれば10人になっているかもしれないということは、非常に心強く有り難いことだと思っております。地区と致しましても、これには強く取り組むつもりではありますが、何しろ増強して欲しいとおっしゃいました。

ゲイリーさんは、ゲイリーさん自身が台北のロータリークラブの会長の時に、ご自分のクラブの会員の方たちの奥様方をロータリアンとして入会させ、そうすることによって、増強を成し遂げたそうで、皆さんも国に帰ったらそのようなやり方もあるのだということを伝えて欲しいとおっしゃっていました。これは確かに方法論と致しましては、ご自分の奥様に入会して頂く、女性の方であればご主人に入会して頂く、別に奥様、ご主人でなくても、ご自分の家族に入会して頂けば、あっ

という間に倍になるのは当たり前でございます。しかし現実問題として、この方法が日本で良いかどうかは別として、ゲイリーさんがおっしゃりたかったことは、そのようなことで我々は行ったけれども、勿論その方法をとっても良いけれど、それを一つの方法論として考え、頑張っ欲しい、一つのやり方がこうだったのだということをおっしゃったのだと思います。

増強の一つの柱、国際ロータリーでも日本のロータリーでもそうですが、やはり女性会員を増やしていくということは、どこでも言われます。ご存知だと思いますが、日本の女性会員数の平均は約 5.5%で、この地区は約 4.5%、世界の平均は約 19%とされています。

先進国、例えばアメリカ、イギリス、日本、この辺の会員数は長期低落傾向ですが、台湾や韓国、発展途上国は、インドも含めて増加をしております。そのような所の特長の一つは、やはり女性会員の%が多いということです。30%近い数字が言われている所もあり、増強する一つの柱が、女性会員を今よりも増やして頂くということは、間違いのない事実であろうと思っております。しかし増強ということ、これに対して皆様のクラブでも普段から検討されていると思っておりますが、なかなかこれ一つを行えば良いと言う方法論は無いと思っております。日本のロータリーでは四つの柱ということを書いておまして、一つは作次作戦、田中作次さんのお名前を付けた作次作戦というものを謳っております。これは日本全体のボトムアップを狙った方法なのですが、皆様方のお知り合いでどこか遠くにいらっしゃる方が居れば、是非その方がいらっしゃる所のロータリークラブへ紹介し、そこへ入って頂けないかという手助けをして頂きたいということです。二つ目の柱は、先ほどお話致しました女性会員を入会させて欲しいということ、三つ目の柱は、会の維持です。やはり 2 人入れたとしても、1 人辞めてしまえば 1 人の増強、2 人入れも 3 人辞めてしまえばマイナスになってしまいます。そのため、クラブは辞めないような努力もしなければならず、会員の維持も非常に大切なのです。四つ目の柱は、クラブの拡大ということですが、これはなかなか難しい問題かもしれません。

日本のロータリーは今言ったように、増強ということに関しては 1.作次作戦、2.女性会員、3.会員維持、4.クラブの拡大、この 4 つを柱として行って欲しいということを書いてきております。これをどう捉えるかは、皆様のクラブで判断されれば良いことだと思いますし、皆様のクラブではクラブなりのやり方で増強されれば良いと思います。何度も言うようですが、現在 6 名も増強されたということは、非常に良い結果でもありますし、言ってみれば我が地区における、他のクラブに対する一つのアピール材料にもなると思います。是非模範となって、今後も頑張っ頂きたいと思いま

す。

ゲイリーさんはこうもおっしゃいました。増強にも寄付にも通ずることだと思いますが、やはり今後は公共イメージのアップをして欲しいとのことでした。私は今まで地区の 40 力所位のクラブに行って、新入会員の方にずっと最初から同じ質問をしております。それは新入会員の方が入会する前に、ロータリーのことをどの程度知っていたかということをお教え下さいということです。これは別に新入会員の方でなくても結構なのです。皆様自身も、一つお考えになってみてはいかがでしょう？皆様が入会する時にどれだけロータリーのことを知っていたらよかったか、ほとんどの方が恐らく何も知らなかったと思います。ロータリーとはなんだろう、駅前のロータリーで何かする人だと思っていたと言う人もいらっしゃいました。ロータリーの方が駅前のロータリーで掃除していたのを見ていたりして、連想したらしいのです。

こう言っは何ですが、ライオンズと比べると、ライオンズクラブの方は良く知っていたけれども、ロータリーはあまり知らなかったという声も実は結構あるのです。これがどういうことを意味しているのかということは、少し考えればわかることかも知れません。いずれに致しましても、外にいる方はロータリーのことを知らないのです。そのため知らない方を口説いて入会させるという難しさが、我々に課せられております。

良いことをしているのに、外に向かって宣伝するのいかな物かといった声も恐らくあるのだと思います。日本人の美德と言えさうであると思っておりますが、我々は日頃からロータリーのことを外に向かって、今後はネット社会でもありますし、情報を如何に外に伝えていくかということが、大げさですが我々今後のロータリーが生き残っていくための道の一つの方法論になっていくのだと思います。

RI の方もロータリーに今後、公共イメージのアップをして欲しいということを書いてあります。ご存知だと思いますが、2010 年に当時の新世代部門、12 歳~30 歳までの若者、現在は青少年奉仕と言っておりますが、その青少年奉仕、これが正式に第 5 の奉仕部門になりました。これは何故なったのでしょうか？考えればわかることだと思いますが、若いその人たちに対する奉仕というものを、勿論それまでもきちんと行っていたけれども、本腰を入れてきちんと行ない、将来のことを考えた時、長期的に若者に対してロータリーというものの良さを教え、奉仕の精神を教え、そしてその子たちが将来ロータリアンとなるべく年齢になった時、ロータリーをもっとわかってもらおう、出来ればロータリアンになって欲しいという考えが根底にあるのだと思います。

我々と致しましては、ロータリークラブというものがこんなに素晴らしいということ、勿論嫌味のあるようなやり方で行うのは宜しく無いと思

いますし、私どもにもロータリアンとしてのプライドがございますので、そのような物を損なわないように、外に向かって良い意味でロータリーを公共イメージのアップのためにお話願いたいと思います。その一歩は、もしかするとご自分の奥様に対するレクチャーなのかも知れません。我々は外に向かって、ある程度公共イメージのアップをしていかなければならないということです。

ゲイリーさんのおっしゃった公共イメージのアップ、具体的にと言いますと、一つはやはりポリオの撲滅です。これはロータリーが運動に参加し、世界で99%成功しているということ、あともうほんの少しだ、2018年度末までにはこれを撲滅するとゲイリーさんはおっしゃっています。こんなことを言うてはいけないのですが、我々医者から見れば本当に出来るのかという気持ちも実際あるのですが、ゲイリーさんはそのようにおっしゃっています。

今世界では、発症しているのは10か国国ございますが、ポリオの病原菌が残っているのは3ヶ国だけです。アフリカのナイジェリアとアジアのパキスタンとアフガニスタンの3ヶ国です。あの大国のインドでさえ、今年撲滅宣言ができました。ちょうどその発表があったのが1月13日で、我々の前でゲイリーさんが、「今日は良いニュースがあります。インドでの撲滅宣言がです。」とおっしゃいました。正式にはもっと後で春ごろの発表だったと思いますが、世界的に流行していたポリオもあともう少しの所ということです。

これに関して、あと少しなのだけれどもここにお金がかかる、数億ドル掛かると言われております。一説によりますと10億ドル、こういうことがあるから、最初に皆さんにお話した寄付をお願いしますということに通ずるのだと思います。なぜそんなにかかるのか、それだけやる価値があるのかということもあるかもしれませんが、これをそのまま放置しておいて、撲滅出来ない場合、今後十数年、数十年に渡って、世界での経済的及び医療費的な損失は、数十億ドルだと言われております。ですから、その1/10で今頑張れば、撲滅ができるという試算になっております。我々としてはそれを信じて、少しでもポリオの撲滅ということで、直接向こうに行ってワクチンを投与されている方もこの地区でもいらっしゃいますが、そこまでとは言わないまでも、幾ばくかの奉仕をするということは良いのかも知れません。

いずれに致しましてもゲイリーさんのおっしゃったのは、「寄付をして下さい」、「増強をして下さい」、「公共イメージのアップをして下さい」ということで、その公共イメージアップの一つの方法は、先ほどこちらのクラブでも行われた、ロータリーデーというものを行って欲しいということです。既におやりになったということですので、もう一回くらい、来年の春にやられるのも良いのかも知れません。しつこく行う方がよいのでしょうか。

日本は11月3日に名古屋でロータリーデーを行います。そして確か来年の2月も東京でもう一度ロータリーデーを行うと思います。又その時には、皆様にご参加願いたいと思いますが、ゲイリーさんはそのようにおっしゃい、ロータリーを強くして欲しいということをおっしゃいました。

この地区と致しましては、会員増強、人を増やすことも良いのですが、大切なことは、お一人お一人のロータリアンが今以上に輝いて頂く、その為には今以上に研修をして頂きたいと思っております。その一つのやり方としては、RLI委員会というものを立ち上げ、そこで研修をして頂きたいということ、それからもう締切が11月1日となりますが、先ほど言いましたように2010年に規定審議会があり、そこで変わったものがありました。3年毎に国際ロータリーでは規定審議会を行い、定款細則に記載していることの変更をしております。海の向こうのRIが決めることは関係ないと思っらっしゃる方が沢山いらっしゃるかも知れませんが、やはりあれは我々のクラブが出したものを基にして変えているわけです。是非皆様も定款細則をお読みになり、変えた方が良い場所があればクラブの意見として出して頂きたいと思いません。今年の締め切りは11月1日で、地区からRIへの締め切りは12月末となっております。これは今年度だけではなく次年度にもつながることだと思いますし、そのようなものに対する対応委員会というものも作り、今後のためにも皆様と共に考えていきたいと思っております。

地区と致しましては、先ほど言いましたように、例年に比べて研修という機会が多くなるのかも知れませんが、是非ご協力のほど宜しくお願い致します。セミナー等には出たくない、あまりそのようなものには行きたくないということが本音だと思います。しかしその行きたくない時に行くことが良いことだと私は考えております。行きたくない時に行った方が、何か得るものがあったような私の経験がございして、勉強というのはそういうものではないかと思えます。

ポールハリスも「ロータリーは学びの場だ。例会場は学びの場なのだ。卒業はないのだ。」と言っております。一生勉強していかなければならず、そして自分の職業とロータリーを両立させということが、素晴らしいロータリアンの一つの生き様だと、私は思っております。

皆様と共に頑張っていきたいと思えます。地区も色々なことをお願いすることがあるかも知れませんが、宜しくお願い致します。

・・・クラブ協議会・・・)

司会進行 寶積会員増強委員長

寶積会員増強委員長

ロータリーにおける会員増強と言いますのは、今は国の少子化問題と同様に、ロータリーの存続にかかっているかと思えます。先ほど



ガバナーのお話にもありましたように、他クラブが会員を減らす中、私ども狭山中央ロータリークラブはこの3年間で13人の増強をしてみました。更に仲間を増やし、ロータリーライフを楽しむために、本日このテーマを設けました。それでは討論に入らせて頂きます。

まず稲見会長にお伺い致しますが、先ほどガバナーから二桁の増強だというお話も少しありました。入れるべき時はどんどんと入れていくのだということで、今年度の増強に関する会長の目標や、それ以外のお話をして頂ければと思います。

稲見会長

今年度5名ということでスタートした訳ですが、皆様のご協力のおかげで現在6名ということになっております。ガバナーからは10名という新たな目標を目指せと言われておりますので、なんとか協力頂けたらと思います。

やはりきっかけは2年前の若松年度の時、中谷委員長の「目標は10名だ」と言ったことで、それ以前は増強はと言えば2名といった数字が常識でした。急に10名ということで、しかしそれで6名実行されたものですから、それが増強の景気になっているのではないかと私は思います。是非10名を目指して、宜しくお願い致します。

寶積会員増強委員長

会長も言われておりましたが、この3年で本当に増強の火付け役となった中谷会員、増強とはなかなか大変な割に、当クラブではスムーズにしておりますが、入会に際してどのような形でロータリーを紹介すると良いのか、そのようなお話を少しして頂きたいと思えます。

中谷会員

私が増強委員長をしておりました2年前に、ちょうどクラブの創立20周年ということで、それを機に減少を続けておりました会員を増強しようということでクラブ協議会を開きました。その当時会員が30名を切っておりましたので、10名以上増強し、40名に会員を増やそうということで、皆さんと相談をし、頑張ったわけです。今年度も早くも6名の方が入会されまして、今までに13名新会員を迎えることとなりました。都合2名の退会

がございましたが、目標の40名を現在維持しており、これは非常に順調に増強していると思っております。どのようにクラブを紹介しているかということですが、私の場合勧誘に際しまして、「狭山中央ロータリークラブは、古い慣習や格式に囚われず、会員とその家族も含めた楽しいクラブをモットーにしております。そしてこの地域では1番のクラブだと思っております。」とお話しまして、「自信をもって皆さんに当クラブへの入会を勧めることができます。」とこのように説明を致しました。ポイントはロータリークラブとはやはり楽しくなければつまらないと思えますので、楽しいクラブだということと、少しおこがましいとは思いましたが、この地域では1番であるということ、やはり入会して頂くわけですので、自分たちのクラブが1番だと思っていないとなかなか入会は頼めませんので、1番であるということ、その辺を強調致しました。

勧誘に当って、ほとんどの人がロータリークラブという名前は知っておりましたが、中身、どういった団体でどのような活動をしているかということ詳しく知らない方もいらっしゃいましたので、その人たちに対してはロータリーの歴史と世界200ヶ国以上の国に120万人以上の会員がいて、友好と奉仕を志す人々の世界的な団体ですよということ簡単に説明致しました。そして我々ロータリークラブに入会しませんかと、一緒にロータリー活動をしませんかといったように、勧誘しております。

増強に関しましては、我々のクラブは本当に今順調に行っていると思えますが、これに満足せず、会員一人一人が増強に対して強い意識を持って勧誘を続けて行くことが大切だと思っております。

寶積会員増強委員長

ありがとうございます。なかなか新しい会員を推薦するにあたってロータリーをどのように紹介していくかということは、非常に難しい問題です。今日は討論会ですので、私はこうしている等、なかなかそのようなご意見があれば後程でも構いませんので、聞かせて頂きたいと思えます。

古谷パスト会長は、前年度も2名の会員をご推薦頂きまして、本当に一生懸命会員増強に力を入れて頂いているわけですが、ご自分が推薦された会員に対して、入会後のアプローチや退会防止の工夫等がございましたら、是非教えて頂きたいと思えます。

古谷会員

若松年度の中谷増強委員長を皮切りに、この3年間で13名と、毎週入会セレモニーを行っているような状況で、凄いなと思っております。会員増強は非常に重要な項目で、会の力ですので、永遠にやっつけていかなければならないと思えます。そうした意味で我がロータリークラブは、先ほどお話を

ありましたように、退会する人が多い中、どんどん増強をしております素晴らしいと思います。勧めた方への入会後のアプローチについて、正直言いまして、私は何の苦勞もしておりません。非常に有能な方に入って頂いたので、すぐに慣れて頂き、放っておいても平気だということで、時々会えばニコニコしている程度で、それほど気を使っている状況ではありません。楽しみな方に入って頂いたので、これから期待を持てると思っております。

これからも、コツが少しずつ分りましたので、上手くいくかはわかりませんが、どんどん増強に努めて行きたいと思っております。

寶積会員増強委員長

古谷会員の今のお話の中で、付け加えたいこと等、何かご意見がある方はいらっしゃいますか？

稲見会長

6名入ったのですが、本当に皆さんが優秀であると思います。私が入った頃は全然ロータリーに関心がありませんでしたが、それでも入りました。しかし最近本当に皆さん優秀で、凄いと思っております。

寶積会員増強委員長

本当に皆さん優秀な方がどんどん入会してくれ、非常に嬉しく思っております。若松パスト会長、御様は私の知っている範囲では、本当に人脈が多く、やはり会員増強をしていくというのは、まず入会前の絆の作り方、そしてそのような沢山の知り合いがあるので、入会を誘うコツやタイミング等、そのようなものがありましたら、お話を頂きたいと思っております。

若松会員

一昨年、会員さんが急に増えた時に、稲見会長と中谷増強委員長に大変助けて頂き、顔が立ちました。2年経って、なんとかあの時の恩返しをしたいという気持ちをずっと持っておりますが、今年私も何とか一人誘うことができました。正直言いまして、今回私は初めてでして大きいことは言えないのですが、私個人としては、この人ならば確実だとか、推薦できるということを確信してから、紹介したいと思っているものですので、私の場合は時間がかかります。時間がかかりすぎるという欠点がありますが、しないよりは良いと思っております。

お尋ねのコツですが、コツがあれば教えて頂きたいのですが、よく会って、ときどきロータリーの話をする習慣は付けたいと思っております。興味のない人を説得するのは非常に難しいことだと思いますので、なるべく気の合う人から色々話をしております。タイミング、機が熟するということがあるのだと思っておりますが、なんでも熟するこ

とが大切だと思っておりますので、その熟した頃、今回の清水さんの場合は、もうそろそろ熟し時だと思いをさせて頂きました。

絆ですが、清水さんの固有名詞を出させて頂くと、よく行動を一緒にするケースがこの10年間多いものですから、個人的に心を許した友人であるし、本当に彼とは友情の絆があると思っておりますので、なんとか入って欲しいということで、一生懸命説得した経過がございます。

寶積会員増強委員長

ありがとうございます。どなたか、私は入会前にこのような絆づくりをしているという話も含めて、ご意見のある方はいらっしゃいますか？小島さんは、入会されて6年位、4年位がそろそろ退会の危ない時期だというような枠を超えたわけですが、今まで6年間ロータリーライフを楽しんで来て、ロータリーとはどのような所が良いのか、だから続くのだといったお話を頂ければと思います。

小島会員

私は狭山中央ロータリーしか知らないのですが、この雰囲気ではお話ができないのですが、狭山中央ロータリーは凄く温かく、友愛に満ちた会だということ、心からいつも感じております。自分の生業とは違う楽しさや充実感というものを感じていると思っております。そのことが6年間続いたという事でしょうし、中央ロータリーの良い所も、皆さんが温かく新しい人を迎え入れる、そのような心持が非常に伝わる会だと思っております。私にとっても、本当に週一回皆さんの顔を拝見することが楽しみでもあるというところです。

寶積会員増強委員長

やはりロータリーは楽しくなければならぬと思います。何か発言される方はいらっしゃいますか？

栗原(成)会員

小島さんが入会した時は私が会長だったのですが、端的に言えば、ロータリーに誘うということは、男の人を誘うにも女の人を誘うにも、その人に好きかどうか、それで誘いやすくなると思うのです。小島さんの場合は、若い時から有名な方でしたので、その話が出たときには、好きだからということで、直接知り合いではなかったのですが、中谷さんが知り合いだということで、一緒にお願ひに行った次第で、快く入会を承認して頂き有り難く思っております。人と人が付き合っていて、誘いやすくなるのではないかと、小島さんの場合に私は感じましたし、他の人を誘う時も、そうした気持ちで誘うようにしております。

寶積会員増強委員長

佐藤会員、入会されて6年位になると思います
が、入会前のロータリー、公共イメージと致しま
して、入会前のロータリーに対するイメージと、
入会後のイメージとはどうでしょうか？

佐藤会員

入会するまでは、私もロータリーとは本当に敷
居が高く、そんなところに入れるわけがないと思
っておりましたが、以前の会長さんの強い思い入
れと、私の周りのNOとは言えない方たちに色々
と呼ばれまして、そこでどンドンと話され、分り
ましたと入会致しました。

私もどちらかと言いますと職人の世界でずっと
来ておりますので、皆さん経営者の方が集まって
いる、そのような会にとてもじゃないと思ってお
りましたが、入ったところ、やはり初めの1年間
位はなかなか足が向きませんでした。そのうちに、
だんだん入ってきた仲間が増えてきて、その仲
間と非常に意気投合をし、だんだんと楽しくなっ
てきて、ロータリーへ足が向くようになりました。
それもその間引っ張ってってくれた大先輩がお
りまして、やはり大先輩から「なんだ。でてこ
ないじゃないか」としょっちゅう声がかかりますと、
そうかと思ひながらなんとかしてきたということ
もあり、やはり声を掛けて、引っ張って行って
くれる人たちがいるということは、これも素晴ら
しいと思います。特にこの中央ロータリーはその
ような方も多く、会っても「よう」とか、「一杯行
こう」等、非常にフランクな会だと思います。私も
6年目になりますが、毎回来るたびにワクワクす
る気持ち、今日は何か楽しいことがあるのでは
ないかと思ってまいりました。

増強ということで、新入会員がどんどんはいつ
てくるということですが、私はあまり無理して入
れても辞めてしまったという例がありまして、そ
ういった面でも、やはりよく説明をして、その場
のノリで入れては駄目だと、苦い経験を致しま
した。これも一つ自分を戒めるために、良い経験
をしたなど、今度はしっかりした人、しっかり説
明をして入れようと心に誓いました。そうした面
でも、非常に勉強の場だと日々感じております。
中央ロータリーは本当に楽しくて、ワクワクする
会だと私は思っております。

寶積会員増強委員長

ありがとうございます。

佐藤さん、入る前と入った後のロータリーのイメ
ージは如何でしょうか？

佐藤会員

イメージは、やはり入る前は敷居の高い所だと思
っておりましたが、入ってみたら非常に楽しい
所だと、毎回ここに出席したくなるということ
を、私は非常に感じました。他のロータリーにも3
カ所位メイクアップで行きましたが、やはり非常に

堅苦しい雰囲気もありますし、当クラブとは違
うなということを感じて帰ってくることはばか
りでした。中央ロータリーとは、他にはない、引
張っていく、惹かれていく雰囲気があるのでは
ないかと思っております。

寶積会員増強委員長

益子会員も小島さん、そして佐藤さんと大体ロ
ータリー歴が同じ位だと思います。今は地区役員
としても活躍されているわけですが、地区から
見た当クラブとは、どんな感じでしょうか？

益子会員

今年社会奉仕の地区委員をさせて頂いており
まして、年度前の4月5月、7月に入ってからも、
多くの地区の会員の方とお話させて頂いており
ますし、食事やお酒も一緒にさせて頂いており
ます。社会奉仕ということで集まって、実は地
域社会奉仕とアイバンク、世界遺産、ブライ
ダルという4つの柱があるのですが、結局話
題に上ることは会員増強と会員維持というこ
とになってしまいます。当クラブが10人以上
入会者が増えたと言うと、皆さん口を揃えて
「それは凄い」「どうやってそんなに集めた
のか」と聞くのですが、私はまだ申し訳ない
のですが、新入会員は入れていないので、「明
るいクラブを目指しているだけです。」と答
えております。

確かに他のクラブの方々と比べますと、当ク
ラブはチャーターメンバーの方を始め、古い
会員の方も非常にフレンドリーですし、炉
辺も多く行われていて意見の交流も良い
ですし、滞ることもないので、非常に、他
所から見ても、明るくて雰囲気の良いク
ラブなのだと思っております。しかし残念
なことと言いますが、先週のガバナー補
佐訪問でもお話頂きましたが、ロータ
リアンとして、基本の知っておくべき情
報が少し足りないということ、先週も補
佐が言われたいくつかの項目があり
ましたが、すぐに答えることができない
方も多かったと思います。毎月頂いて
いるロータリーの友やガバナー月信に
も多くの情報がありますし、手続要
覧もインターネットから無料でダウン
ロードできます。

当クラブのように楽しいクラブを前提とし
た上で、ロータリーの基本の情報を周知
し共有することが、今後維持につな
がるのではないかと思っております。

寶積会員増強委員長

先ほどガバナーのお話で、どうしてこの中央
ロータリーがこの3年間でこんなに会員が
増えているのかということ、他のク
ラブでも、というようなお話があり
ましたが、例えば他のクラブとの
話の中で、どうして他のクラブは
会員が減っていくのかということ
を聞くことも、退会防止になる
と思っております。知り合いの
いくつかのクラブで見

みると、ガバナー補佐をされた方、会長をされた方等、本当にロータリーに対して熱く燃えた人たちが辞めていくということが、現実にあります。あまりにロータリーを熱く語りすぎて意見が合わなくなってしまう等、色々な話も聞いたことがございます。

先に進ませて頂きますが、柴田パスト会長が会長であった頃の増強に対する取り組み方等のお話を聞かせて頂ければと思います。

柴田会員

私は18年の会員歴がありますが、振り返ってみますと4人を入れまして、2人が退会されています。残り2人が今頑張っている佐藤さん、中谷さんなのですが、それが私の会長前後の時の入会の2人でございます。今心強いお話をさせて頂いて、大変ありがたい思いしておりますが、もちろん最初はロータリーが何かと言いましても、あまり耳に入らない問題で、やはり個人的な繋がり、信頼関係がベースにあると思います。それが入ってから、ロータリーで活動していく上でどうなのだということが、次のテーマに入っていくのだと思います。そうするとやはり入って1~2年、2~3年の間が、長いロータリー歴を作っていくための勝負の期間だと、私は見ております。私の反省ですが、辞められた方も結局その辺が曖昧であるということ、ロータリーとはという堅苦しいことではなく、どうなのだという点で、やはり私も弱かったという思いです。

一つはお金の問題ですが、「やはり年間34~35万円はかかるよ。その位遊びに使うよ。」と、お金が年間このくらいかかるということを伝えることが非常に重要であると思っております。そして勿論、入会金がいくらで月いくら払うのだということをしつかり言わなければならないということが入会のときにはありますが、問題は入ってから、それが重要であると思います。私はつくづく思っているのですが、ロータリーの会は人間形成の場だと見ています。一人一人の事業主、皆さんが自分の事業を行っていくときに、ほとんどアップダウンで物事を言う、しかしこのロータリークラブでは共通のテーマで事を動かすということ、そこではやはり我儘は許されない、大体協調をしなければならぬ、そこで人間形成が養われるのだと思います。もう一つは、ロータリーに各事業がございますが、これに働きかけていって欲しいのです。与えられるものではありません。2~3年はどうしてもロータリーが何かわかりませんので、皆どうなのだろうと聞くのだと思いますが、だんだんと1年、2年経っていけば、今度は自分から働きかけていくと、その事業の内容もわかるし、一緒に関与する人達の関係がわかってきます。するとその人たちの良し悪しがわかり、良い所をとっていけばよいのです。私の人間形成にはこうした所が足りないからこうしよう、あの人がこう

したことを言ってくれて有り難い話だ、それを受け入れよう等、そのような訓練をしていくわけです。そうしたことが、私はロータリー歴18年となりますが、本当に良かったと思い、これ以外に後何もありません。

ロータリーの色々な取り決めがありますが、それは緩やかなものであって、やはり基本は自分がどうなるかということだと思いたいです。中谷さんや佐藤さんとはよく意見交換をするのですが、そこにはやはり楽しいロータリーにしたいということもあるし、お互いが関与して形成をよくしていきたいという思いもあるからだと思っております。

寶積会員増強委員長

ありがとうございます。

次に栗原成実パスト会長にお尋ね致しますが、先ほど小島さんに質問したことと、少し似ているのかもしれませんが、狭山中央ロータリークラブの良い点、悪い点、そして退会防止はこうした方がよいといったご意見がありましたら、聞かせて頂きたいと思っております。

栗原(成)会員

こちらに関しましては、私は公共イメージの委員長も含めて書き上げましたので、いくつか代表的なものを言いますと、当クラブはとても温かいクラブなのですが、どこのクラブに行きましてもそのようなことは言うのではないかと思います。自分のクラブは良いと思っているはずなのです。しかし私たちはネパールに小学校を作ったり、モンゴルに植樹をしたり、国際奉仕に特に力をいれてきた経過があります。また国内では3.11の津波被害で私の実家の支援をして頂き、フリーマーケットもそうなのですが、アウトドアの活動が多くて、例会だけではなく、成果が目に見えてくる、そのような活動をすることが、当クラブの特長なのではないかと思っております。

逆に悪い点は、どこのクラブでも同じだと思うのですが、2世がなかなか入会してこない、私もお世話になった亡くなった先輩がおりますが、その方に声をかけていても、親の後ろ姿を見ていたせいか、ロータリーきちがいになってしまった親なのか、2世に言ってもなかなかうんと言いません。そして一番大切なことは、やはり月2万円の会費は、誰でも誘える会費のレベルではないのかと、年間に致しますと、親睦活動等全て参加致しますと40万円は超えるのではないかと思います。これはやはり、例えばRIは主婦も入会可能になったと言っておりますが、少し難しいのではないかと思います。そしてライオンズは知っているけれど、ロータリーは知らないといったように、市民に対する知名度が低いことです。こちらは公共イメージの問題ですが、各クラブが行うほかに、RIまたは日本の地区が、もう少しメディアにロータ

リーというものをアピールするべきではないのかと思います。

会員が減るとどうしても RI の収入も減りますので、ガバナーに反論する訳ではございませんが、寄付と言いますが、寄付のためには会員増強、しかし会費が高ければ会員増強ができない、となると RI が小さな制度ではありませんが、小さな RI になるべきではないかと思えます。こちらは公共イメージの方からです。

そして退会防止につきましては、まずは新入会員の個人の存在感が一番問題であろうと思っております。新入会員の声を良く聞いて、声掛けをする、例会の席を色々と変えてあげる、イベントがあったら回覧だけでなく、直接本人に声を掛ける、役を担って頂く等、色々とおもいますが、そのようなことで退会防止が出来るのではないかと思えます。

寶積会員増強委員長

確かにそうだと思います。お金の問題は少しわかりませんが、2世が入ってこないということは、大きな問題かもしれません。

ガバナーがおっしゃっていたように、ライオンズに比べるとロータリーは宣伝が下手なような感じが致します。色々な形でもって、もう少し公共イメージを上げていくと良いかと思えます。

私は当クラブの悪い点とは本当に考え付きませんが、言われてみるとそのようなことがあると思いました。

次に吉松パスト会長にお聞きしたいのですが、ロータリー歴が 35 年ということで、当クラブの重鎮ですが、私はやはりロータリーの一番の良さは異業種であるということ、我らの生業さままだというようなことだと思いますが、しかし最近では会員を増やそうという中で、それがどうでもよいといった傾向もあるような気がするのですが、そちらはどのようにお考えでしょうか？

吉松会員

異業種交流という言葉が最初にでてくるのですが、ロータリーの入会の手続きには、一業種一人ということが今までの通例でございまして、10 年経つ、65 歳以上になる等でその壁が一応取り払われ、同じ業種でも新しい会員に入ってもらったことになっております。

私が勧めたかったのは、最近職業を持っていない暇な人、仕事をリタイヤされて第二の人生に+

を求めていらっしゃる方、65 歳を過ぎた方になります。そういった方にも是非ロータリーに入ってもらいたいというのが良いのかと思えます。職業分類から言いますと、例えば大学の先生をされていた、それに近い公共の仕事で長年されておられて、今は整理や釣しかやっていない等という方は、知識が豊富ですから、是非入って頂き、増強に繋がれば良いと思っております。

当クラブの良さの一つとして、女性会員に多く入って頂いているということがあります。素晴らしい美女軍団、美女で熟知のある女性グループの方々のおかげで当クラブの活性化しているのではないかと思います。ここにきて何人か入って頂いておりますが、もっともっと女性の会員を増やしていけたら良いということが、私の感想でございます。

寶積会員増強委員長

ありがとうございます。

有山会員、古谷パスト会長のご推薦で入会をされておりますが、入会を決意した動機、入会した後どうだったかということをお話して頂けたらと思います。

有山会員

古谷会長とはある経済団体の会合で度々お目にかかって、知己を頂きました。その会合ではどちらかと言いますと表面的なお話だったと思えますが、その後仕事の関係で古谷様の御宅にお邪魔するようになりまして、その交流の中でロータリークラブはどうだというお誘いを頂きました。

結論的には入ろうと思ったのですが、3点+1 というものがございまして。

まず第一点は、古谷さんのお宅に伺いまして、1 時間、2 時間とよく二人で話したのですが、そういった中でお互いの仕事のことですか、社会情勢、経済状況等色々な意見交換をし、大変見識、博識のある方だと私感じまして、こういった方がロータリーにはたくさんいらっしゃるのかということで、人生の道場といいますが、そういった場で自分も啓発され、自分自身が成長するといった魅力的な場ではないかということに改めて感じたことです。

第 2 点目は、私も経済人でございまして、クラブのメンバーの方は地元の経済人ということで、お互い Win-Win の関係が仕事の場でも築けるかもしれないといった、こちらはちょっとしたスケベ根性であります。3点目は、良き企業市民としてロータリー活動を通じて、いわゆる社会貢献と言いますと大げさになるかもしれませんが、奉仕という形の中でお役に立てるのかという、以上の三点が大きかったと思えます。そして、実は私はオーナーではなく雇われマダムでございまして、自分で入ろうという意志がなかなか難しいところがあったのですが、ここが古谷さんの上手な所でございまして、ある会合を私は別の役員にバトンタッチしたのですが、その役員の所へも実は古谷さんが働きかけを致しまして、その役員の応援を得て、オーナーを通じて入ろうかと話が進みました。この辺が実は一番大きかったかもしれません。そうした意味では、古谷さんの要手に負けました。

入会してからは、皆さんおっしゃっているように非常にフランクでフレンドリーな雰囲気、出

やすい、そして例会も外来卓話等、この間は参議院議員の中山先生を呼んで頂き、非常に変化に富んだ行事を沢山行って頂けるので、やはり出よう、出たいなという気を起こさせる、工夫の仕方と言いますか、それが非常に大きいのかと思っております。入会して非常に良かったと思えますし、なによりも強力な美女軍団がいらっしゃるの、来週も出たいと思う、これが一番大きいかと思いません。

寶積会員増強委員長

ありがとうございます。田中隆行会員は稲見パスト会長のご推薦で入られて訳ですが、入ってまだ1年ちょっとにも拘らず2人も会員をご紹介して頂きました。

まだ1年位で2人も会員を推薦して頂くとき、その会員へどのような説明をして入会して頂いたのかということをお願いしたいと思えます。

田中(隆)会員

短期間でお二人を推薦したということは、非常にラッキーだったと思うのです。今回のテーマも会員増強ということで、私は1年ちょっとしか会員として動いてないと思えますが、他のクラブはどうなのかという全く知らなかったのです。他もどんどん増えているのではないかと、実際その位の認識をもっておりました。ところが入ってみてわかったことは、あまりそういった動きもなさそうだということ、辞めて行く方もいるということで、なんで辞めていくのかと思ったのですが、それは一つ防止策があると思えますが、会員増強という意味から言って、先ほども言いましたが非常にラッキーであったと思えます。

私も数年前に後期高齢者に入り、入ったと思えばもうそれから4年経ってしまっています。来年になりますと80歳といったところまで来ておりますが、会に入って非常にユニークで楽しい、何がともあれ皆さんと価値観を共通して動いているということで、これからも出来ることならば会員を1人か2人、又動いてみようと思っております。しかしかんせん私の周りには皆後期高齢者ばかりで、年金生活です。口説くにも骨が折れますので、若い方をこの度お二人入って頂き、非常に有り難かったと思ひ、会にも多少貢献できたかと思ひます。

寶積会員増強委員長

ありがとうございます。

清水会員、若松パスト会長の推薦で入られましたが、パスト会長のことですから入会前はかなり色々ロータリーに関しての説明をされたと思ひます。どういったきっかけで入会を決めたのか、その辺のことを教えて頂ければと思ひます。

清水会員

銀行さんの親睦会の集まりで若松パスト会長と

お会いしたのが初めてで、それから10年近くになります。当初はロータリーの話はほとんどありませんでした。ここ1~2年になって、行動の断片、催し物等のお話をちらちらされていましたが、どうだい？という話もほとんどありませんでした。ここへきて急にどうだい？という話があったのですが、その時も説明というものはほとんど無かったに等しいです。確かに忙しいことはお互い知っておりましたので、毎週出席しなければならない、会社を辞めたら退会しなければならないと、私は勝手に思っておりましたので、「取りあえず会社優先だから忙しい時はよいからね」ということが、恐らく説明の一言だったと思ひます。それからフレッシュロータリアンの研修に行って、会社を辞めても退会しなくて良いのだということに気が付いたくらいです。説明というものはほとんどなく、その人が好きか嫌いかといったようなことで、良いと思えばどんなこともネガティブな部分ということとはほとんどないと思うのです。会費が幾ら等、そのような話はほとんどおっしゃらず、「どうだい？」という一言だったと思ひますので、その後研修等で、このようなこともあるのだということ、を、少しずつ覚えております。

最初から会の云々かんぬんということは、私の場合はほとんどなく、先ほどパスト会長がおっしゃったような形で入会させて頂きました。異業種の交流の場ということで、私本当に楽しみにしております。宜しくお願い致します。

寶積会員増強委員長

ありがとうございます。

浜野会員にお尋ねしたいのですが、先ほどから女性会員の話がでておりますが、女性の方の方が女性会員を誘うのに誘いやすいような気がするのですが、現実の問題としては、7人いらっしゃる女性の中で、女性から推薦されたという方が少ないのはどうしてなのでしょう？

浜野会員

私は女性会員の宮野さんから紹介されて入会致しましたが、先ほどから出ていますように、年間40万円位お金がかかるということと、週一回会に参加する等、さまざまなことがどうしてもお勧めする時に大丈夫かなと、まず思ってしまうということもあると思ひます。しかし入ってみると、皆さん凄く懐が深く、普通の生活ではお知り合いになれないような方と一度にお知り合いになれるということで、良いことが沢山ありますので、これからはそうしたプラスのことを強調して説明していこうかと思ひます。

私も10年以上経つのですが、一人もお誘いできていないのが現状でして、今まで皆さん凄く熱心に増強に意識をされていることを、素晴らしいと思ひます。これからは少しでも、一人でも女性会員を、仕事上どうしても女性の方との面識

が多いので、意識をして説明していかなければと改めて思いました。

寶積会員増強委員長

ありがとうございます。

吉川会員にお尋ねしたいのですが、吉川さんはだいぶ前に副会長を経験されて、そろそろ当クラブも7名も女性会員がおりますので、女性会長が出られた方が、女性の会員増強にも良いのかと思うのですが、その点についてどのようにお考えでしょうか？

吉川会員

私はまだまだ勉強不足ですが、確かに女性の増強にはつながると思います。女性同士ということで、スムーズに会話等、わかりあえるような気が致します。女性ならではのきめの細かい配慮や気配り等は、少しは出来るのではないかと思います。むしろ女性会員よりも男性会員の方が増えるのではないかと思います。

2570地区の52の地区で、まだ女性会長は5名だけしか活躍しておらず、全体の10%に過ぎないそうです。女性はやはり家庭もありますし、夫がいればご主人のお世話も疎かには出来ないと思います。ですから、今会長をなさっている女性の方を非常に尊敬致します。色々と、夜の会合等ございますと、夫が居れば色々大変な方も中にはいらっしゃるのではないかと思います。

私はロータリアンにならせて頂きまして、入った当時は会社でいつも怒っており、性格はあまりよくありませんでした。こちらに参りまして、皆さんとニコニコしながらこんにちと挨拶を致しますと凄く気が大らかになりまして、本当に良かったと思います。お天道様がどこかで見ていないかと、悪いことは出来ないような気が致します。本当に入って良かったと思います。

寶積会員増強委員長

ありがとうございます。

田中八束会員にお尋ねしたいのですが、田中さんは地区のことは本当に良くご存知だと思います。地区の増強への取り組みとは、どのようなものなのでしょうか？

田中(八)会員

地区の増強への取り組みですが、地区の方は組織が全て別れておりまして、私は研修委員会の方に属しております。増強はクラブ奉仕部門の方で行っており、増強についてどのような活動をしているのかということ詳しく存じ上げないということが実状でございます。如何に辞めずに継続してもらおうかということを考えておりまして、ここ6年ほど第3グループのフレッシュマン研修というものを、今年からフレッシュロータリアン研修と名称が変わりましたが、行っております。私が

チャーターメンバーとしてロータリーに入ったときは、全くこのような研修がなく、何となく皆さんの後についていって覚えるというような状況でございました。

最近フレッシュマン研修という研修に出て頂き、ほぼディスカッションと同じような形式で、皆さんにロータリーについて学んで頂き、ガバナーにも一昨年はこうしておいで頂いております。地区の方を呼んで講師になって頂きまして、だいたい1日の研修で45分の研修を3セット行うということで、中身の濃い、時間の長い研修なのですが、ロータリーがどんなものかということを研修して頂きます。

3年間、今ですと5年間となりますが、継続的に色々な研修を受けて頂くと、ロータリーについて、より広い視野が得られ、退会防止には非常に好評があるのではないかと、そちらの方で協力をさせて頂いております。

増強については非常に重要な問題がございまして、私どももまだこれから、機会があるごとに狭山中央ロータリー方には是非お誘いしたいと思っております。

寶積会員増強委員長

ありがとうございます。

江原幹事にお尋ねしますけれど、新しい会員が早くクラブに溶け込めるように、特にどんなことに力を入れていらっしゃいますか？

江原幹事

一言で言えばコミュニケーションであると、自分では考えております。例会においては出来るだけ私どもの方から声を掛けるようにしておりますし、当クラブの雰囲気慣れて頂けるよう、考えているつもりでございます。また普段の日はお互いの時間が合うような時に、飲食等の機会を設けまして、特に公の場ではなかなか聞きにくい部分もあると思います。

例えばロータリーの用語の解説や疑問点等、そのようなことについて何よりも私ども狭山中央ロータリークラブへ入会後に感じている、それぞれの年代に応じた今の思いを、お互いに話し合うようにしているつもりでございます。私のときにも諸先輩方にそのような機会を数多く設けて頂いたのですが、そうしたことで気持ちがだんだん楽になり、不安が消え、ここにいる自分の存在感のようなものを感じたという経験もございます。

先ほど来、諸先輩方がお話になっていらっしゃるように、そうした機会を数多く設けて頂いているということが、このクラブの存在価値、継続しているものではないのだろうかと感じております。ですから私は、やはりコミュニケーションが一番ではないかと思っております。

寶積会員増強委員長

ありがとうございます。

奥富会長エレクト、次年度の会員増強について抱負を聞かせて頂ければと思います。

奥富会員

如何せんこの年で10年足らずということでは、距離的には浅いロータリアンでございます。私も今年12月で古希となります。古希のエレクトとは非常に、何と言いますかまだ悩んでいるのですが、このような会の場を委員長に作って頂き、中央ロータリーは良い人、素敵な人ばかりだと、私たち10年間何をやってきたのだろうといった感じしております。

私と致しましては、エレクトの立場で増強問題をまだ言える立場ではございません。次期エレクトにしても、幹事にしてもまだまだ内定といった感じで進めているわけですので、そちらで胸が一杯でございます。

この間の7月号の「ロータリーの友」縦書、会員増強の部分に出ておりましたが、会員増強=退会防止と謳ってあった気が致します。皆さん一つ、応援をして下さい。

寶積会員増強委員長

ありがとうございます。

大分時間もオーバーしてしまい、ガバナーにもご迷惑をお掛けし申し訳ありません。今の討論会、討論になったかどうかは私もわかりません。まとめはできませんが、やはりロータリーライフが楽しいから仲間を誘おうというようなこと、もう一つはいつでもどこでも全員が増強委員だという自覚を常に持っていることが、増強のコツであると思います。国も女性が輝く社会づくり、ロータリーも女性が輝くロータリーづくりというものがあれば良いかと思っております。

増強とは単純に考えますとそんなに難しくは無いのだろうと思います。40人の会員の皆さんが10人に1人だけ紹介、推薦して頂ければ、退会0の防止をして、10年後には80人の会が出来るのではないかと思っております。皆さん色々とお話を聞いて、私はこのように増強しようといった形で、是非増強に力を入れて頂きたいと思っております。これで討論を終わりにしたいと思います。

【ガバナー総評】

ただいま皆様の活発なご意見を聞かせて頂きました。日頃思っていたかどうかは別として、これだけ色々な意見をこの場で出されるということは、すっきりされたと思います。クラブがこのようなことをされたということは、RIL方式であるにせよ無いにせよ、良い事だと思います。個々のことについては皆様方が今後クラブで検討されれば良いと思います。

どうしたら増強できるのか、答えは無いと思

ますが、やはり皆さんのお声や、今までの皆さん各クラブの人の意見を聞きますと、あの人がいるから入りたいというクラブを作らなければいけません。あんな奴がいるから入りたくないというクラブを作るとダメなのです。あの人がいるから入りたいというクラブを作る、その為にどうすれば良いかということを考えて頂きたいと思っております。余り難しいことではないと思っております。素晴らしいロータリアンになれば良いということでしょう。ロータリーの会員とロータリアンとは違うということも考えて頂きたいと思っております。

ポールハリスは色々言っておりますが、「クラブで大事なものは友情である。友情を結びつけるのは寛容の精神だ。」とっております。「奉仕の理想をするにあたって、障害となるものの一つは富の崇拜だ。」という言葉も残しております。ポールハリスが言ったことが、ある意味ロータリーではこれを根本にして考えていく必要があると思っておりますので、是非皆様ポールハリスがどのようなことを言ったか、その後のロータリーがどのような歩みをして現在に至っているかということをお勉強して頂ければ、今後のロータリーの行く道もおのずから分ってくるのだと思っておりますし、その中で自分がどのようなロータリアンになりたいかということをお考える一つの重要な指標になると思っております。是非ロータリーの歴史の研究をして頂きたいと思っております。ロータリーも100年経っています。ある意味劣化しているのかもしれない。ですから、これをこのまま我々が放っておくという訳には参りません。

会員増強につきまして、これはあまり言うべきことではないのかもしれませんが、なぜ会員増強を日本としても行うのか、一つは会員が減少してきてRIに対するお金等が少なくなってきましたと、RIに対する発言力が無くなってきました。今現在日本ではゾーンが3つあります。これが少なくなってきましたと、ゾーンが2つにされてしまう可能性もあるのです。現在3つのゾーンがあり、ここは第1ゾーンですが、現職のRI理事は2名です。これが1名にされてしまう等ということがありますと、それだけ日本のロータリーのレベルは低下してしまうということがございます。そのため日本のロータリーも頑張らなければ維持をし、なるべく会員を増やそうということが、方向性としては正しいのかなと思っております。

まだまだ先の話かもしれませんが、中国が本格的にロータリーを開院させるとすると、会員は何人になるのでしょうか？100万人になってもおかしくないと思います。人口は日本の10倍以上です。そのような国があるということも現実です。別に中国と対抗してどうこうという話ではありませんが、やはり会員増強は色々な意味で大切だろうと思っております。ではそれが幾らになれば適正かということですが、世界は今、ゲイリーさんの終わりにまで120万人を130万人にしようとしています。

日本は今8.8万人位を10万人にしようとしています。では10万人にしたらその先どうなるのか、そうした問題もあると思います。ご存知だと思いますが、バブル最盛期には12.8万人位、もう少しで13万人の所までいきました。それが現在3割以上減って8.8万人、これが日本の現状です。日本全体のロータリアンの数をいくらにするかということ、これは答えが無いかと思いますが、もちろんどんどん増えて50万人、100万人になることは無いと思います。クラブにおいても、どの程度が一番適正なのかということを考えれば、おのずから回答が出る問題なのかもしれません。しかしこのクラブは先ほど言いましたように、短期間で6名も増強された、そうすると波があるでしょうから、年度末までには10人にして頂いて、そうしますとある意味地区の歴史に残るクラブになるのかもしれない。

目標は高く持つ方が良いとされておりますので、是非頑張って10人にして頂ければと、これは単なる希望ですが、宜しく願いしたいと思います。今日の会合、大変素晴らしいと思いました。また立派なクラブに出させて頂きまして、ありがとうございました。

お礼のこぼ 稲見会長

坂本ガバナー、今日は1日ありがとうございました。勉強になりました。皆さんも10名ということですので、増強をこれからも頑張っていきたいと思います。寶積増強委員長宜しくお願い致します。



富士見 RC とバナー交換



坂本ガバナーと入会3年未満の会員の懇談



ニコニコボックス



富士見 RC 小椋博之様

坂本ガバナーに同行させて頂きました、
本日はよろしくお願ひ致します。

富士見 RC 奥田功次様

本日は宜しくお願ひ致します。



稲見君

国際ロータリー第 2570 地区坂本元彦
ガバナー、本日のガバナー公式訪問よろ
しくご指導お願ひします。

江原君

国際ロータリー第 2570 地区ガバナー坂
本元彦様、お忙しい中おいで下さりあり
がとうございます。本日は何卒宜しくお
願ひ致します。



坂本君

国際ロータリー第 2570 地区ガバナー坂
本元彦様、本日はよろしくお願ひ致しま
す。

奥富君

第 2570 地区ガバナー坂本元彦様、第 3
グループガバナー補佐沼崎様、富士見 RC
小椋様、奥田様よろしくお願ひ致します。

竇積君

フリーマーケットでの東日本震災復興支
援市、狭山中央 RC のお陰で¥663,670 円
の売り上げ、有難うございました。

宮岡君

フリーマーケットの準備の場所代として
お気づかいをクラブから頂きましたが、
お気持ちだけ有難く頂き、ニコニコと致
しました。

栗原君

坂本ガバナー本日は公式訪問有難うござ
います。今日は 3 分間スピーチを担当致
します。

中谷君

坂本元彦ガバナー本日は当クラブへの公
式訪問有難うございます。ご指導宜しく
お願ひします。



狭山中央 RC 美女軍団

坂本ガバナー、小椋様、
奥田様ようこそお出でいただきました、
昨夜から念入りに、パックと化粧をして
お待ちしておりました。頑張りましたが
この程度ですいません、本日はよろしく
お願ひ致します。



2014 ~ 2014 年度 ニコニコ累計額	1,409,000 円
---------------------------	-------------